

2014年度  
事業報告並びに活動決算書



特定非営利活動法人 東ティモール医療友の会

# 2014年度 特定非営利活動法人東ティモール医療友の会 (AFMET) 事業報告

## 1. 概要

2014年度は、オランダの人間主義協力協会 (HIVOS Foundation – Humanist Institute for Cooperation in full) が事業実施支援先となり、「衛生的なかまどの普及」事業を継続実施した。

JICA (独立行政法人国際協力機構) 事業中に組織した、協働組合であるFINI<sup>1</sup>は、AFMETから独立し、東ティモール政府への組織登録を完了したため、補助的な支援を継続して行った。

2014年4月3日、地主・AFMET・県保健局三者で会談、合意書に署名し、2001年の開所式以来利用していた現地事務所並びに住居棟の土地を地主に返還した。2014年10月より、ロスパロス市内にある政府の土地建物を借り活動を継続している。

2014年6月30日に HIVOS 事業終了後、一部地域で「衛生的なかまどの普及」事業を継続実施。また、プライマリ・ヘルスケア事業実施のための調査・活動提案書作成を行った。

## 2. 事業報告

「衛生的なかまどの普及」事業を、東ティモールの NGO である Fraterna、PROSPEK と共に展開した。

対象となっている2準郡の約97%の世帯が現在も薪を使用して料理をしており、煙を吸うことによって起きる、目・呼吸器疾患患者が多く、特に、女性や子どもへのケアが重要である。本事業は、HIVOS が実施している Food Security プロジェクトを基とし、屋内の空気の汚れが原因で病気にかかっている人々や、安全な食品が確保されていないラウテン県・ラウテン準郡、トゥトゥアラ準群4村400世帯を対象とした。

### I プライマリ・ヘルスケアの普及促進事業

「衛生的なかまど」をフードセキュリティーグループ<sup>2</sup>に配布する際、PSF<sup>3</sup> (Promotor Saude Familia) がかまどのプロモーションを実施した。住民に対し、ポスター、看板を使用しながら、「衛生的なかまど」を使用する際の利点 (森林伐採防止、時間・経費の節約ができる事、火起こしのストレスからの解放、目・呼吸器の病気予防)、煙が身体に与える影響、かまどの使用方法を伝えた。

プライマリ・ヘルスケアの普及促進事業 詳細

日付	内容	場所	参加人数
2014年12月26日 (再掲)	集落対象 かまど使用に関する情報提供	コム村 エテピティ集落	56名 PSF3名
5月15日	集落対象 かまど使用に関する情報提供	パルラメント村 イラアラ集落	72名 PSF4名
6月24日	集落対象 かまど使用に関する情報提供	メハラ村 ポロス集 落、ロイケレ集落	158名 PSF5名
6月25日	集落対象 かまど使用に関する情報提供	マヒナ I 村 ソレレシ集落	115名 PSF5名

<sup>1</sup> FINI:Fuan Ida Neon Ida テトウン語で一心同体の意。2008年にAFMETによって組織された協同組合。天然素材を使って生産した石鹸・薬草の販売、ココナッツオイルの販売を行っている。

<sup>2</sup> HIVOS が Food Security 事業を実施した際に組織された住民グループ。安全な食品を確保出来るよう、野菜の種、トウモロコシ保存に必要なドラム缶等が配布された。

<sup>3</sup> 政府保健省によって組織されている保健ボランティア。各村に5人ずつ配置されている。英訳は、Family Health Promotor。

## 成果

普段、保健衛生に関する情報を得る機会の少ない集落に住んでいる住民に対し「衛生的なかまど」の利点について伝える事ができた。

PSF が「衛生的なかまど」に関する情報を正しく住民に伝える事ができた。

フードセキュリティグループの住民が、「衛生的なかまど」を利用できるようになった。

「衛生的なかまど」401基を、コム村、パルラメント村、メハラ村、マヒナ1村の住民に配布する事ができた。

## 課題

県環境局環境保全課スタッフから、森林伐採を予防し環境破壊を守るためにも、事業継続の要望があった。事業実施を継続にむけた資金確保が課題である。



「衛生的なかまど」の配布を受けた親子



PSFによる「衛生的なかまど」プロモーションの様子

## II 健康に関する住民へのサービス及び知識・情報提供事業

県保健局栄養課担当者と協働し、SISCa<sup>4</sup>のMeja2と4を利用して「衛生的なかまど」を利用した栄養のある食事の調理実演を行った。政府保健ボランティアであるPSFと共に、妊娠中の母親、子ども、治療を受けている一般住民を対象とし、薪を使用して調理することによる身体への影響・かまどの使用方法・かまど使用時の利点などの情報提供を行った。

日付	内容	場所	参加人数
4月7日	かまど使用に関する情報提供と栄養のある食事の実演	マヒナ1村	115名
4月11日	かまど使用に関する情報提供と栄養のある食事の実演	アイレベレ村	105名
4月14日	かまど使用に関する情報提供と栄養のある食事の実演	コム村	86名
4月14日	かまど使用に関する情報提供と栄養のある食事の実演	パルラメント村	108名
4月21日	かまど使用に関する情報提供と栄養のある食事の実演	ダウデレ村	105名
4月22日	かまど使用に関する情報提供と栄養のある食事の実演	メハラ村	122名

<sup>4</sup> SISCa:保健省が月に1度村々を訪問して行う母子健康診療サービス。SISCaにはMeja-メジャ（テトゥン語で机の意）と呼ばれる6つのデスクがある。

Meja1:Registration Meja2:Nutrition Meja3:Consultation for pregnant women and nursing mothers  
Meja4:Assistance Environmental Health Meja5:Consultation,Prescription Meja6:Health Promotion

## 成果

参加した住民が、かまどの使用方法、かまどを使用する際の利点について理解した。  
母親たちが、栄養のある料理の作り方を理解した。  
参加した住民が「衛生的なかまど」に興味を持った。

## 課題

対象地域以外の人々にも「衛生的なかまど」の普及を図るため、SISCa Meja2と4でかまど使用に関する情報提供の継続的实施を保健局に依頼する必要がある。



集落での情報提供の様子



SISCaMeja 2 と 4 を利用した情報提供

## Ⅲ プライマリ・ヘルスケアを目的としたコミュニティ事業

### 1. “サナライ”生産女性グループ支援プログラム

東ティモールの伝統的な素焼きの“サナライ”<sup>5</sup>と呼ばれる壺や貯金箱等の器を生産しているアサライヌ村の女性グループと協働し、ポータブルタイプの「衛生的なかまど」を生産した。

かまどを焼くために、さらにおおきなかまど(フォルヌ)が必要となるため特製フォルヌを製作した。

#### “サナライ”生産女性グループ支援プログラム 詳細

日付	内容	場所	参加人数
5月16日	ポータブルタイプかまど作成	アサライヌ村	4名
5月21日	かまどの燃焼	アサライヌ村	4名
5月23日	フォルヌ修理	アサライヌ村	4名
5月26日	かまどの燃焼	アサライヌ村	4名

## 成果

女性グループメンバーがかまど使用・作成の重要性を理解した。  
女性グループメンバーと協働でかまど、フォルヌを製作できた。

## 課題

フォルヌで焼いたかまどの質が悪く、フォルヌを作り直す必要がある。また、十分に乾燥させず焼いたかまどはひび割れが多く、乾燥に時間をかける必要がある。

<sup>5</sup> サナライ:テトゥン語 Sana (鍋) Rai (土) の意。

## 2. 「衛生的なかまど」普及・促進プログラム

女性グループと協働で生産したかまどは、質が悪く、事業終了までにかまどが配布出来ないことが判明したため、AHISAUN<sup>6</sup>と協働でポータブルタイプの「衛生的なかまど」を製造・普及することとした。

女性グループのメンバーと共に AHISAUN のかまどの質向上トレーニングに参加したスタッフを中心として、かまどの製造を行った。製造したかまど345基を、マヒナ I 村、メハラ村、パルラメント村に設置した。

事業支援先である HIVOS ジャカルタ本部事業責任者が AFMET の活動視察を行った。

「衛生的なかまど」普及・促進プログラム 詳細

日付	内容	場所	参加人数
4月10日	かまど作成実地トレーニング	AFMET	5名
4月28日	燃焼室購入(72基)	AHISAUN	2名
4月29、30日	かまど作成(13基)	AFMET	2名
5月1日～7日	かまど作成(72基)	AFMET	2名
5月15日	かまど普及(72基配布)	パルラメント村	74名
6月1日～15日	かまど作成(108基)	AFMET	3名
6月24日	かまど普及(158基)	メハラ村ポロス集落、ロイケレ集落	160名
6月24日	HIVOS プロジェクトマネージャー AFMET 活動視察	AFMET パルラメント村イラアラ集落	3名
6月25日	かまど普及(115基)	マヒナ I 村	117名
7月31日～8月1日	「衛生的なかまど」普及事業 会計監査実施	AFMET	4名
8月12日	HIVOS ジャカルタ本部事業責任者 AFMET 活動視察	AFMET パルラメント村イラアラ集落	2名

### 成果

かまど作成実地トレーニングでは、協働で事業を行っている NGO (Fraterna、PROSPEK) スタッフを招き、AFMET スタッフがかまどの作成方法を伝える事ができた。

AHISAUN と協働で「衛生的なかまど」を生産する事ができた。

「衛生的なかまど」345基を住民に配布する事ができた。

HIVOS 本部事業責任者による事業受益者へのインタビューにおいても、「衛生的なかまど」を使用する利点を受益者が理解できている証言があった。

HIVOS による「衛生的なかまど」事業の会計監査が行われ、正しく事業が実施されたことの確認を得られた。

### 課題

スタッフが取得した「衛生的なかまど」製造の知識を住民にさらに伝えていく必要がある。

アサライヌ村に設置したフォルヌを修理し、女性グループの収入創出事業として支援を継続的に実施していく。

<sup>6</sup> AHISUAN 障がい者協会：かまど、窓枠生産技術トレーニングを障がい者に対して行い、彼らが収入を得られるよう、販売を行っている組織。首都デシリで運営。





AHISAUN から購入した燃焼室を使い、かまどを作成



AHISAUN と協同で製造した「衛生的なかまど」

### 3. FINI 活動支援

2012年度に AFMET から独立し、政府登録を完了させた FINI は、商業産業環境省からの支援を受け、現在も意欲的に活動を継続している。AFMET は、現地代表が FINI 開催の会議に参加するなど、彼らのアドバイザー的存在として協力関係を継続している。

2014年度 AFMET がFINIとともに実施した会議数:1回

2014年度FINIを訪問した NGO、他機関:4団体

2014年度顧客数:17店舗(NGO、ホテル含む)

2014年度 FINI が製造・販売した石鹼の合計は次のとおり。

2014年度 FINI 石鹼製造・販売・在庫数 詳細

石鹼タイプ	製造数合計	販売数合計	在庫数合計
石鹼(大)／100g	6,200	3,196	3,004
Virgin Coconut oil 石鹼／100g	1,200	1,200	0
石鹼(小)／25g	24,966	4,786	20,180

また、今年度FINIが主催・参加した会議、イベントは次のとおり。

FINI が主催・参加した会議、イベント 詳細

日付	内容	場所	参加人数
5月15日	<u>FINI 主催 店舗改築祝賀会</u> 環境産業観光省の支援により、店舗の改築が決定。FINI が祝賀イベントを実施した。	FINI ショップ	FINI6名 AFMET1名
5月20日	<u>商業産業環境省主催 東ティモール独立記念イベント</u> 東ティモール独立記念イベントにFINIが出展。石鹼販売実施。	デイリ	FINI2名
6月15日 ～23日	<u>環境産業環境省主催文化フェスティバル</u> 文化フェスティバルに FINI が出展。石鹼を販売した	デイリ	FINI2名
10月13 日、14日	<u>農業省主催 世界食べ物の日</u> 世界食べ物の日イベントに参加。石鹼を販売した。	デイリ農業省	FINI2名

## 成果

今年度、新たに香りのある葉を使用した石けんを開発する事ができた。  
今年も多くのイベントに参加し、FINI 石けんを紹介する事ができた。  
首都ディリでバージンココナッツオイル石けんが一定の評価を受けた。

## 課題

FINI の安定的活動継続のためにも、頻回に会議開催を行い支援継続の必要がある。  
消費者が好む色・香りつきの石けんを開発し、更なる顧客を増やすこと。  
石けんの普及、販売促進に向けた市場を確立する必要がある。  
石けんプロモーション活動に消極的になる傾向が見受けられるため、FINI メンバーのモチベーション向上に努めていく。



FINI ショップ外観



FINI ショップ内で作業するリーダーとメンバー

## IV 地域医療行政との連携・協力事業

今年度も、保健、開発行政、他の NGO・NPO との連携のため各種会合に参加した。

- ・ICS(Inproved Cooking Stove/改良かまど)ワーキンググループの実施 1回 (6月26日開催、16名参加)
- ・他機関主催ワーキンググループ、ワークショップ、イベント、会議への参加 25回
- ・主な連携機関 保健省(環境衛生課、健康促進課)、農業省(国産物農業広報課)、司法省(市民登録課)、商業環境産業省(住民グループ支援課)、県保健局(環境衛生課、健康促進課、栄養課)、県農業局(国産物農業広報課)、県環境局(環境保全課)、県水道局(公衆衛生課)、NGO フォーラム(FONGTIL/DLO)、県庁、JICA(国際協力機構)、AHISAUN 障がい者協会、NGO(World Vision Japan、HIVOS、ManyHands、Mercy Corps、Fraterna、PROSPEK、Haburas Foundation、OPAC、PARCIC、SHARE、Peace Winds Japan、TransSMS、AOHPF)

## 成果

- ・他機関との連携を深め、情報交換を行うことが出来た。
- ・NGO 同士の情報交換が頻回に行われるようになり、連携が深まった。

## 課題

- ・今後も視野を広げて多くの機関と協働していきたい。

## V 人材の育成・研修事業

### 1. AFMET スタッフ能力向上トレーニング

AFMET スタッフの更なる能力向上のため、日本カトリック海外宣教者を支援する会からの助成を受け、以下の内容でトレーニングを実施した。

実施期間:2014年11月10日～17日(8日間)

トレーニング参加者:

1. ジュベンシオ・ソアレスー現地代表、プロジェクトマネージャー
2. カルリト・ダ・コスタープログラム・コーディネーター
3. ジュリエッタ・デ・ジェズスーフィールド・スタッフ
4. ジュゼ・フレイタスーフィールド・スタッフ
5. アリノ・ゴンザガープログラム・マネージャー

トレーニング内容は以下の通り。

AFMET スタッフ能力向上トレーニング 詳細

日付	内容
11月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トレーナーとトレーニング参加者の紹介</li> <li>・ 今回のトレーニングで学ぶトピックについての説明</li> <li>・ Financial Management Strategy               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Management Accounting について</li> <li>○ AFMET の現在ある資産とその金額の特定</li> <li>○ 現在の資金と運用方法について</li> <li>○ 管理すべき資金について</li> </ul> </li> </ul>
11月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会計管理の機能について               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 短期間実施する事業の会計管理方法</li> <li>○ 長期間実施する事業の会計管理方法</li> <li>○ 事業が無い場合の会計管理方法</li> <li>○ モラルについて</li> </ul> </li> <li>・ 会計管理責任が必要である理由について</li> </ul>
11月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団体/組織運営の方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 支援先の見つけ方</li> <li>- 支援先と関係を強化する方法</li> <li>- 支援先のタイプ</li> <li>- 事業活動提案書の作成方法</li> </ul> </li> </ul>
11月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織内の活動発展戦略計画の立て方</li> <li>・ AFMET 活動発展戦略計画作成</li> </ul>
11月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業活動モニタリングと評価方法について</li> <li>・ 2014 年度 AFMET かまど事業 活動評価</li> </ul>
11月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業活動提案書作成方法ー経費の立て方               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 支援先が求める、活動経費の作成方法</li> <li>- 支援先ごとの活動経費の書き方</li> </ul> </li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 支援先との交渉の仕方について(どのように組織の名を宣伝するか)</li> <li>- AFMET の強みと弱み</li> <li>- これまでに提出した会計書類の評価(かまど事業を例に)</li> </ul>
11月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業活動計画の作成方法</li> <li>・ PDM(Project Design Matrix)の作成ーバウカウ県ケリカイ準郡の水事業を例に</li> </ul>
11月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スタッフが作成した PDM の評価</li> <li>・ トレーニングのまとめ</li> <li>・ 質疑応答</li> </ul>

## 2. 他団体(NGO)との協働

AFMET の活動の充実に向け、他 NGO と積極的に協働した。

### (1) 視察等の受け入れ

- AFMET 活動見学 保育士受け入れ  
2014年6月12日～6月28日
- NGO「種とも」 AFMET 活動紹介  
2014年9月9日
- “ものづくり”研究者 See-D ツアー AFMET 活動紹介  
2014年9月19日
- BFTL(東ティモール図書館活動基金) 中口尚子さん訪問 AFMET 活動紹介  
2014年9月19日
- AFMET 活動見学 食品管理者受け入れ  
2014年12月8日
- AFMET OB 成田清恵さん訪問 AFMET 活動紹介  
2015年1月14日
- FINI 活動見学 NGO TransSMS 受け入れ  
2015年2月3日～5日
- JLMM OB 徳恵利子さん訪問 AFMET 活動紹介  
2015年2月12日～14日
- 大阪大学学生 AFMET 活動紹介と見学  
2015年3月6日

### (2) AFMET と協働している主な NGO・NPO、国際機関、政府関係機関

NGO フォーラム(FONGTIL/DLO:県連絡調整官 東ティモール)、HIVOS(オランダ)、Fraterna(東ティモール)、PROSPEK(東ティモール)、海外宣教者を支援する会(日本)、ピースウィンズジャパン(日本)、ワールドビジョンジャパン(日本)

#### ・国際機関

UNICEF

AusAID(オーストラリア)

#### ・その他

アジア歯科保健推進基金(AOHPF)(日本)

ドンボスコフィロロ(東ティモール・サレジオ会)  
 ドンボスコケリカイ(東ティモール・サレジオ会)  
 イエズス会(東ティモール)  
 聖母訪問会メハラ修道院(東ティモール、日本)

### (3) 政府関係機関

政府保健省(MoH)  
 政府農業省(MoA)  
 政府インフラ省水道課(SA)  
 政府商業産業環境省(MCI)  
 政府司法省(MJ)  
 ラウテン県県庁(Administrasaun)  
 ラウテン県保健局(DHS)  
 ラウテン県農業局(MAP)  
 ラウテン県水道局(SAS)  
 ラウテン県環境局(MA)  
 日本大使館  
 独立行政法人 国際協力機構(JICA)

## VI 広報・啓発事業

### 1. ニュースレター発行

「東ティモール医療友の会(AFMET)ニュースレター」を発行。2014年度は2回発行。

号数	発行日	内容
第33号	2014年4月20日発行	理事長あいさつ HIVOS 事業進捗状況について 現地スタッフインタビュー
第34号	2014年12月24日発行	理事長 東ティモール訪問 2014 現地からの報告 (新しい事業に向けて/HIVOS 事業終了報告)

### 2. 取材協力等

2014年5月21、22日:JICA デリ浄水場専門家講義に通訳として協力  
 2014年6月1日～16日:  
 王子ネピア「1000のトイレ」プロジェクト視察に通訳として協力  
 2015年1月23日～:AOHPF(アジア歯科保健推進基金)コーディネーターとして協力  
 2015年2月18日～23日:日本東ティモール協会 消防車寄贈事業に通訳として協力

### 3. 報告会

2014年5月31日(日) カトリック雪ノ下教会(山口副理事長)

2014年11月2日(日) カトリック三田教会(深堀)  
 2014年11月9日(日) カトリック由比ヶ浜教会(深堀)

#### 4. 映画上映

2014年度定例総会の開催にあわせ、映画「カンタ！ティモール」の上映会を実施した。

日時:2014年5月31日(日)13時30分

会場:カトリック雪ノ下教会 大会議室

参加者数:50名

#### 5. 東ティモール独立10周年を記念する会

東ティモール独立10周年を迎える東ティモールを記念し、関係諸団体が昨年度立ち上げた「東ティモール独立10周年を記念する会」のホームページを提供した。

### Ⅶ 調査

プライマリ・ヘルスケア普及促進事業を実施するため、新規事業調査を行った。調査場所と内容は次のとおり。

日付	調査内容	場所
8月15日	県保健局口腔衛生課が抱えている問題点、ラウテン県の歯科衛生の現状について	県保健局口腔衛生課
8月22日、23日	ケリカイ準郡の住民が抱えている問題点、支援が必要である場所、ケリカイ準郡の現状について	バウカウ県ケリカイ準郡サレジオ会
9月10日	SISCaMeja2実施中の問題点、住民の栄養状態について	県保健局栄養課
9月17日	ラウテン県ヘルスセンター内で現在ケアしている栄養失調児の状態、ケアの方法について	ラウテン県ヘルスセンター 栄養課
10月1日～4日	ベースラインサーベイ(住民の生活基準調査)、FGD 実施(村長、集落長、女性グループ・男性グループ代表者、教会運営担当者を集め、村の問題点などについて話し合い)	バウカウ県ケリカイ準郡 ナマネイ村、バギア村、レライ村
1月20日	コミュニティヘルスセンター、栄養失調児の家庭訪問。コミュニティヘルスセンターが抱えている問題、栄養失調児ケアの課題について、栄養失調児を持つ母親へのインタビューを実施した。	イリオマール準郡ティリロロ村
3月18日	環境保全のために実施しているプログラムについて	県環境局環境保全課
3月30日	ココナッツオイル製造女性グループの自立向上支援プログラムについて	県農業局国産物農業広報課
3月31日	PAKSI(環境衛生のための住民活動計画)プログラムについて	県保健局健康促進課

### Ⅷ 新規事業提案・助成申請

2014年度は新規事業提案および助成申請を次のとおり行った。

#### 1. 独立行政法人国際協力機構(JICA) 2014年度「世界の人びとのための JICA 基金」

申請事業名:東ティモール・ラウテン県 クリーンかまど普及事業

## 2. 日本カトリック海外宣教者を支援する会 助成事業

申請事業名:スタッフの能力向上受講

## 3. 独立行政法人国際協力機構(JICA) 草の根技術協力事業2014年度第2回パートナー型

申請事業名:バウカウ県キリカイ準郡 住民主体の意識・行動変容による健康衛生改善

## 4. 味の素株式会社「食と健康」国政協力支援プログラム

申請事業名:栄養失調児の減少を目的とした母親対象の栄養と食に関する知識向上プログラムとその実践

## IX 会の運営

### 1. 会員

2014年3月31日現在 計 54(個人・団体)

(内訳)

正会員 個人: 22名 団体: 3団体 計 25(個人・団体)

賛助会員 個人: 25名 団体: 4団体 計 29(個人・団体)

### 2. 会議

#### (1)2013年度定例総会

2014年5月31日(土) カトリック雪ノ下教会

役員を選任について

2013年度事業報告並びに収支決算について

2014年度事業計画及び収支予算について

現地活動状況報告

その他

#### (2)理事会

理事会を次のとおり全9回開催した。

回数	開催日	会場	議題等
第58回	2014年4月30日	カトリック雪ノ下教会	現地ローカル NGO 化について他
第59回	2014年7月11日	カトリック雪ノ下教会	正副理事長の選任について他
第60回	2014年8月18日	カトリック雪ノ下教会	事務局体制について他
第61回	2014年9月10日	カトリック雪ノ下教会	今後の事業について他
第62回	2014年10月15日	カトリック雪ノ下教会	新規事業について他
第63回	2014年11月4日	カトリック雪ノ下教会	新規事業申請について他
第64回	2015年1月13日	カトリック雪ノ下教会	AOHPF への協力について他
第65回	2015年2月10日	カトリック雪ノ下教会	定例総会について他
第66回	2015年3月24日	カトリック雪ノ下教会	2015年度事業について他

■ X 現地活動支援

現地活動を効果的に実施するため、日本から随時現地活動支援員を次のとおり派遣した。

期間	支援員	内容
2014年 4月1日～5日	山口道孝	地主、県保健局との三者会談実施。地主への土地返還。
2014年 10月25日～11月1日	小林裕	JICA 事業実施予定地訪問

■ XI 現地派遣者の派遣

氏名	派遣期間
深堀 夢衣	2014年4月1日～2014年10月15日 2014年11月22日～2015年3月31日(継続派遣中)

■ XII 現地ローカルスタッフ

2015年3月31日現在の現地ローカルスタッフは次のとおり。

	氏名	役職
1	Juvenio Soares	現地代表、プロジェクトマネージャー
2	Carlito da Costa	プログラム・コーディネーター
3	Antonio Baptista	守衛
4	Marito do Rego	守衛
5	Julio dos Santos	守衛

■ XIII 役員

2015年3月末現在の役員は次のとおり。

	役名	氏名	報酬の有無	備考
1	理事長	小林 裕	無	
2	副理事長	山口 道孝	無	
3	理事	緒方 眞理子	無	
4	理事	米田 ミチル	無	
5	理事	漆原 比呂志	無	
6	理事	近藤 周	無	
7	理事	渡邊 怜子	無	
8	理事	金山 重之	無	
9	監事	太田 康雄	無	



### 3. 用語集

AFMET	Alliance of Friends for Medical-care in East Timor
AHISAUN	デイリの障がい者グループ。ポータブルかまど製造で連携。
Alola	東ティモールで活動するインターナショナル NGO。
BESIK	BE'e Saneamentu no Ijiene iha Komunitade (Water, Sanitation and Hygiene in Community)の略。AusAID が東ティモールにおいて実施している衛生プログラムの名前。) )
CDE	Centru Dezenvolvimento Emperezario の略。政府開発省に属するビジネストレーニングセンター。
CG	Cooperative Group の略。協同組合。
CGRC	Cooperative Group Representative Committee の略。石鹼を製造している 18 グループの代表者からなる協同組合代表者会議。
CHW	Community Health Worker の略。
CLTS	Community Led Total Sanitation の略。住民主導の全村的衛生プログラム。
CSB	Corn Soya Blend の略。トウモロコシと大豆の粉末を混ぜ合わせた栄養サプリメント。
CVTL	Cruz Vermelha de Timor-Leste の略。東ティモールで活動するオーストラリア赤十字。
DHS	District Health Service の略。県保健局。
DLO	District Liaison Officer の略。NGO フォーラムから各県に配属されている NGO の調整要員。
DOTS	Direct Observed Treatment Short-course の略。直接監視下短期化学療法。
Emperezario	東ティモールローカル NGO。
FGD	Focus Group Discussion の略。
FINI	Fuan Ida Neon Ida の略。上記の協同組合代表者会議(CGRC)が改名し、このグループ名で活動している。
FONGTL	Forum Organizaasaun Non Govermental Timor Leste の略。東ティモール NGO フォーラム。
Fraterna	東ティモールローカル NGO。CLTS を促進。衛生的なかまど普及事業を協同で実施。
GMF	Group Management Facilitator の略。村の衛生管理チーム。特に水利設備のメンテナンスなどを行う。
HIVOS	Humanistisch Instituut Voor Ontwikkelingssamenwerking (Humanist Institute for Cooperation in full)の略。オランダの NGO。
Icatutuno	東ティモールローカル NGO。Child Fund からローカル化した NGO。
Immanuel clinic	東ティモールで活動するインターナショナル NGO。2013 年度撤退。
KJPS	Komisaun Jestasaun Programa Suco の略。Village Program Management Committee。村のプログラムマネジメントチーム。
KUBASA	Kategorizasaun Uma BAzeia ba Saude Ambiente の略。家庭の衛生環境をカテゴリー分けする全家庭の環境衛生調査。
Marie Stopes International	東ティモールで活動するインターナショナル NGO。

MDM-P	Medicos Do Mundo-Portugal の略。ポルトガルの NGO。2013 年度ラウテン県から撤退。
Meja	テトゥン語で“机”の意。ポスト SISCa ではセクションとして機能。
PAKSI	Plano Aksaun Komunitade Saneamento no Igene の略。衛生環境改善のための住民による活動計画。政府保健省が推進しているプログラム。
PARCIC	東ティモールで活動する日本の NGO。
Plan	東ティモールで活動する国際 NGO。
PSF	Promotor Saude Familia (Family Health Promoter)の略。東ティモール政府保健省に認定されている保健ボランティア。
RWSSP	Rural Water Supply and Sanitation Program の略。AusAID の支援によって東ティモールにおいて衛生プログラムを実施しているグループ。
SAS	Servisu Agua i Saneamentu の略。インフラ省水道局。
SHARE	東ティモールで活動する日本の NGO。
SISCa	Servisu Integrado Saude Comunitaria (Integrated Community Health Service)の略。農村部において月に 1 度村に医療チームを派遣し、住民に保健サービスを提供する東ティモール政府保健省のプログラム。
TB	Tuberculosis 結核
TIMORI	ラウテン県に存在するココナッツオイル製造会社。
VIVASIOUS	ラウテン県に存在する建設会社。

## 2014年度 活動計算書

2014年4月1日 から 2015年3月31日 まで

特定非営利活動法人 東ティモール医療友の会

(単位:円)

科目名	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
<b>1 受取会費</b>		
正会員受取会費	95,000	
賛助会員受取会費	58,000	153,000
<b>2 受取寄付金</b>	3,794,640	3,794,640
<b>3 受取助成金等</b>	1,769,769	1,769,769
<b>4 その他収益</b>		
受取利息	120	
雑収益	25,296	25,416
<b>経常収益計</b>		5,742,825
<b>II 経常費用</b>		
<b>1 事業費</b>		
<b>(1) 人件費</b>		
給料手当	1,472,773	
<b>人件費計</b>	1,472,773	
<b>(2) その他経費</b>		
旅費交通費	1,049,254	
通信運搬費	368,640	
会議費	19,109	
会場費	0	
諸謝金	197,463	
消耗品費	719,931	
印刷製本費	116,454	
賃借料	660,697	
保守整備費	455,480	
水道光熱費	6,763	
燃料費	475,102	
業務委託費	5,141	
医薬品購入費	0	
支払手数料	648	
雑費	0	
<b>その他経費計</b>	4,074,682	
<b>事業費計</b>		5,547,455
<b>2 管理費</b>		
<b>(1) 人件費</b>		
給料手当	0	
<b>人件費計</b>	0	
<b>(2) その他経費</b>		
会議費	3,922	
旅費交通費	35,390	
通信運搬費	146,852	
諸会費	37,006	
支払手数料	18,625	
慶弔費	46,266	
減価償却費	737,598	
<b>その他経費計</b>	1,025,659	
<b>管理費計</b>		1,025,659
<b>経常費用計</b>		6,573,114
<b>当期経常増減額</b>		△ 830,289
<b>III 経常外費用</b>		
固定資産売却損		
固定資産除却損	44,674	
<b>経常外費用計</b>		△ 44,674
<b>当期正味財産増減額</b>		△ 874,963
<b>前期繰越正味財産額</b>		5,032,658
<b>次期繰越正味財産額</b>		4,157,695

## 2014年度 貸借対照表

2015年3月31日現在

特定非営利活動法人東ティモール医療友の会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,321,741		
預け金	601,300		
流動資産合計		1,923,041	
2 固定資産			
車輛運搬具	2,182,865		
什器備品	51,789		
固定資産合計		2,234,654	
資産合計			4,157,695
II 負債の部			
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		5,032,658	
当期正味財産増加額		△ 874,963	
正味財産合計			4,157,695
負債及び正味財産合計			4,157,695

2014年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人東ティモール医療友の会

1. 重要な会計方針  
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
固定資産は、定額法で償却をしています。

2. 事業別損益の状況  
事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	PHC普及啓発事業	健康情報提供事業	PHCコミュニティ作り事業	医療行政協力事業	人材育成	広報啓発事業	事業部門計	管理部門	合計
<b>I 経常収益</b>									
1. 受取会費							0	153,000	153,000
2. 受取寄付金	3,096,743	278,864	146,754	114,170		141,155	3,777,686	16,954	3,794,640
3. 受取助成金等	1,222,519	146,331			400,919		1,769,769		1,769,769
5. その他収益							0	855,705	855,705
<b>経常収益計</b>	<b>4,319,262</b>	<b>425,195</b>	<b>146,754</b>	<b>114,170</b>	<b>400,919</b>	<b>141,155</b>	<b>5,547,455</b>	<b>1,025,659</b>	<b>6,573,114</b>
<b>II 経常費用</b>									0
(1) 人件費									0
給料手当	1,472,773						1,472,773		1,472,773
<b>人件費計</b>	<b>1,472,773</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1,472,773</b>	<b>0</b>	<b>1,472,773</b>
(2) その他経費									
旅費交通費	678,457	54,762	71,480	84,798	159,757		1,049,254	35,390	1,084,644
通信運搬費	326,885	8,331	1,034	2,351	3,815	26,224	368,640	146,852	515,492
会議費	13,682	915	2,995	1,042	475		19,109	3,922	23,031
会場費							0		0
諸謝金	87,097	39,121	71,245				197,463	37,006	234,469
消耗品費	470,430	234,670			7,846	6,985	719,931		719,931
印刷製本費		42,156				74,298	116,454		116,454
賃借料	398,671				229,026	33,000	660,697		660,697
保守整備費	454,655	825					455,480		455,480
水道光熱費	6,763						6,763		6,763
燃料費	409,849	39,274		25,979			475,102		475,102
業務委託費		5,141					5,141		5,141
医薬品購入費							0		0
減価償却費							0	737,598	737,598
支払手数料						648	648	18,625	19,273
慶弔費							0	46,266	46,266
雑費							0		0
<b>その他経費計</b>	<b>2,846,489</b>	<b>425,195</b>	<b>146,754</b>	<b>114,170</b>	<b>400,919</b>	<b>141,155</b>	<b>4,074,682</b>	<b>1,025,659</b>	<b>5,100,341</b>
<b>経常費用計</b>	<b>4,319,262</b>	<b>425,195</b>	<b>146,754</b>	<b>114,170</b>	<b>400,919</b>	<b>141,155</b>	<b>5,547,455</b>	<b>1,025,659</b>	<b>6,573,114</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

3. 施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳  
施設の提供等の物的サービスの受入れはありません。
4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳  
活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供はありません。
5. 使途等が制約された寄付等の内訳  
使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。  
当法人の正味財産は4,157,695円ですが、使途の制約されている正味財産はありません。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
PHC普及啓発事業	0	1,222,519	1,222,519	0	HIVOS、宣教者を支援する会の助成金(1,769,769円)により事業を実施。
健康情報提供事業	0	146,331	146,331	0	
人材育成事業	0	400,919	400,919	0	
<b>合計</b>	<b>0</b>	<b>1,769,769</b>	<b>1,769,769</b>	<b>0</b>	

6. 固定資産の増減内訳  
固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
車両運搬費	2,876,073	0	0	2,876,073	△ 693,208	2,182,865
什器備品	140,853	0	44,674	96,179	△ 44,390	51,789
<b>合計</b>	<b>3,016,926</b>	<b>0</b>	<b>44,674</b>	<b>2,972,252</b>	<b>△ 737,598</b>	<b>2,234,654</b>

7. 借入金の増減内訳  
借入金はありません。
8. 役員及びその近親者との取引の内容  
役員及びその近親者との取引はありません。
9. その他  
支出における月々の外貨換算レートについては、JICA統制レートを使用しています。





## 監査意見書

特定非営利活動法人東ティモール医療友の会定款第15条第4項の規定に基づき、2014年度における事業の執行状況並びに財務の状況について、当該年度の理事会議事録、活動報告書及び活動計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録、更にはこの内容を証する関係諸帳簿、証拠書類等を精査したところ、いずれも適正に処理されていると認められた。

2015年 5月 1日

特定非営利活動法人東ティモール医療友の会

監 事

太田 康雄